

令和3年度 全国学力・学習状況調査（6年）の結果と今後の取組について

北広島町立八重東小学校

全国の小学校6年生を対象にした全国学力・学習状況調査が5月27日に実施され、結果が公表されました。“6年学級”と“のびのび学級”の6年生をあわせた平均正答率をみると、総合正答率では、国語においては全国・県平均を上回る結果となっています。算数科においても、全国・県平均を着実に上回る結果となっています。概して基礎学力が定着している状況にあります。ただし、学力の定着度には、大きな個人差があるという実態が出ています。個々の結果を個別指導に生かしていくとともに、分析を基にして6年生をはじめ全学級で、さらに授業改善(主体的・対話的で深い学び、つきたい力を明確にした授業等)をしていきます。今後も、家庭と連携して学力定着に取り組んでいきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

【全国学力・学習状況調査の結果について】

【正答率-%】

【国語】	総合	(知識・技能)	(思考・判断・表現力)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
八重東小	68	75.8	81.8	68.2	36.4
広島県	66	69.6	79.1	64.0	48.4
全国	64.7	68.3	77.8	60.7	47.2

【算数】	総合	(知識・技能)	(思考・判断・表現力)	(領域)				
				数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
八重東小	75	77.8	70.8	62.5	74.2	77.3	77.3	80.9
広島県	70	73.7	65.9	63.6	57.2	75.1	76.2	76.2
全国	70.2	74.1	65.1	63.1	57.9	74.8	75.9	76.0

【学力調査の結果分析（課題）と今後の取組】

＜国語＞

◎ 「知識・技能」については、概して基礎的な学力が定着している。特に、「語句の使い方」「漢字の読み書き」「主語と述語の使い方」「修飾と被修飾語の使い方」などについては、正答率が高い。「思考・判断・表現力」については、「目的や意図に応じて資料を使って話すこと」「自分の主張が明確に伝わるように文章の全体の構成や展開を考えること」等については正答率が高いが、「資料を用いて目的を理解すること」「文章全体の構成をとらえ内容の中心となる事柄を把握すること」、特に「目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約すること」については、学力をつけていく必要がある。

⇒ 「書くこと」については、必要な情報を収集したり取捨選択したりする力を付け、目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、他者意識を持って分かりやすくまとめて書くことについての指導の工夫をすること。「読むこと」については、目的に応じて本や文章全体を概観して、中心となる語や文を見つけること・要約することについての指導を工夫することに留意して授業づくりを行う。「話す・聞くこと」に関する力を含めて、他教科の学習・総合的な学習の時間の学習等、全ての教育活動と連動させて学力をつけることに留意して指導をする。



＜算数＞

◎ 「知識・技能」については、「速さと道のり」「三角形等の図形の求積」に係る内容については、正答率が高いが、「速さ」「時刻」「グラフの読み取り」、特に「データを二次元の表に分類整理することについては、さらに定着させる必要がある。「思考・判断・表現力」については、「問題の答えの求め方と答えを記述すること(速さと道のり)」「図形の構成に留意し面積の求め方と答え記述すること」「グラフの特徴を記述すること」等については、正答率が高いが、「速さと時間の関係の考察」「問題(除法)の結果について日常生活の場面に即して判断すること」については、学力をつけていく必要がある。

⇒ 算数的な活動を授業で大切にし、一人でじっくりと考える場を設けるとともに、計算・グラフ等の意味の理解を丁寧に行ったり、自分の考えの根拠を説明させたりして、数学的な考え方を伸ばす指導を行う。ノート指導を重視し、自力解決時に解き方について自分の考えをノートに書き込む時間を設け、筋道を立てて分かりやすく書くように指導を徹底する。学んだことを生活と関連付けたり、生活に生かす指導を工夫し、学ぶ必然性を実感させ数学的な思考をもって日常生活を過ごすようにする。

学習・生活アンケート

「生活と学習、教科の学習に関する調査」等が行われた。顕著に国や県の平均を上回るもの・比較して課題として課題として挙げられることは、次のとおりである。

生活に関わっては、「毎日の朝食・起きる時刻等の基本的な生活習慣の定着」「自己肯定感、決めたことはやり切る・人の役に立ちたい・物事に挑戦しようとする意欲」「学校へ行くこと、友達と学ぶ・協力ことは楽しい」「地域行事への参加」「話し合い活動をすることで自分の考えを深めたり広げることができている」「自分で課題を立てて情報を集めたり発表したりする学習をしている」「自分で努力すべきことを決めて取り組んでいる」等のことについては、肯定的な回答率が高い。

教科の学習に関わっては、「学習が好き・大切だと思う・学習がよくわかる」「学習したことは将来役に立つ」「学んだことを生かして自分の考えを広げている(国語)」「分からない時粘り強く取り組みノートに考えを分かるように書いている(算数)」等のことについては、肯定的な回答率が高い。比較しての課題としては、「学んだことを生活に生かすこと(英語を含む)」「学習でのICT機器の活用」等があげられる。



学校では、意欲を持って学べる学校・学級・授業づくり、たくましく生き抜くための資質・能力、生活力等を育てるために、保護者と連携して取組をさらに充実させていきます。